



#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・宿泊施設の受入環境整備やHP改修により、自社の魅力を活かすことでコロナ収束後を見据えて集客力向上を図った。
②	・県公式オンラインショップ等を活用したデジタルマーケティングにより「食」と「観光」の魅力を情報発信するとともに、R1年度に地域に提案した「食」企画の情報をwebサイトや冊子で発信し、食の魅力で人を呼び込む食観光の取り組みを推進した。 ・観光消費額の向上に寄与する有料の体験型コンテンツを10件創出した他、県内周遊を促進するため観光案内所の連携を促進した。 ・ジオパーク体験ワークショップイベントを開催し731人が来場、フォトコンテストでは301枚の応募があるなど、認知度向上が図られた。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、オフィシャルアーティストによる県内外での情報発信を行うとともに、誘客拡大を図るため、見どころの道路案内標識を46か所整備し、「ドライブガイドブック」を作成した。
③④	・観光・地域づくりを担うおおいたツーリズム大学の修了生向けにオンライン講座を実施し、コロナ禍の取り組み共有や、収束後の新たな取り組みについて議論を行った。 ・多言語コールセンターの充実を図り、コロナ収束後も外国人観光客が安心して訪れることのできる態勢を強化した。
⑤	・観光周遊ルート沿いを重点的に、草刈りや展望台等からの眺望を阻害する樹木の伐採を行った。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	宿泊業経営力強化事業	100.0	242
②	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	165.3	65
	おおいたジオパーク推進事業	74.0	65
	食観光推進事業	99.0	242
	観光消費促進事業	100.0	242
③④	民泊の安全・安心確保事業	100.0	243
	おもてなし人材育成事業	10.5	243
⑤	(公)道路改良事業	—	368

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○大分県ツーリズム戦略会議(R3.2)

- ・地元の皆が自慢したくなるような空間づくり、大人の空間づくりも大切。
- ・まず地元のことをよく知って、相手に話せるようにすることが大事だと思う。
- ・エリアの組み合わせだけでなく、施設の組み合わせ、食と自然の組み合わせ等も必要。

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けしっかりと計画をもって取り組む宿泊業者を支援するほか、地域単位で宿泊業者が連携して課題解決に挑戦する動きも支援していく。</li> <li>・釣り体験やサイクリングツアー、ピザ窯体験、星空鑑賞などの観光サービスをさらに増やすとともに、観光案内所や宿泊業者などを通じて県内の滞在時間延長を促進する仕組みを構築する。</li> <li>・地域を牽引するリーダーを育成するため、おおいたツーリズム大学において実践例の体験や各地の取り組みを題材に議論を行うなど、県内外での講義を実施していく。</li> <li>・観光関連施設及び設備の点検実施により、観光客等の安全、快適な環境づくりに努める。</li> <li>・R3年度の再認定を確実なものとするとともに、体験ワークショップイベント等による情報発信を行い、ジオパークのさらなる認知度向上や誘客拡大を図る。</li> <li>・ユネスコエコパークの認知度向上や誘客拡大を図るため、自然散策路の情報発信や自然に触れる機会の創出等につながる受入環境整備の支援を行う。</li> </ul>